



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 パイオニア株式会社
 コード番号 6773 URL <http://pioneer.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ・アナリスト・機関投資家向け)

(氏名) 小谷 進
 (氏名) 岡安 秀喜

TEL 044-580-3211

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	213,729	△5.7	7,002	5.0	5,071	△7.0	1,505	△80.3
23年3月期第2四半期	226,681	11.3	6,669	—	5,454	—	7,654	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 △6,971百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △5,923百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.69	—
23年3月期第2四半期	23.84	22.76

(注)平成24年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	306,645	81,520	25.4	242.14
23年3月期	309,712	88,454	27.4	264.78

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 77,745百万円 23年3月期 85,014百万円

(注)自己資本は、純資産から少数株主持分を控除したものを記載しています。1株当たり純資産は、自己資本を期末発行済株式数(自己株式控除後)で除して算出しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 平成24年3月期の期末配当金は、業績等を考慮して、今後決定する予定です。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

タイで発生した洪水により、当社グループの同国内の生産拠点も一部浸水の被害を受けていますが、この洪水による連結業績への影響については現在精査中であり、現時点では合理的な算定が困難です。従って、平成24年3月期通期の連結業績予想については、現時点では未定とさせていただきます。平成23年11月29日の新・中期事業計画発表時にお知らせする予定です。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	326,093,836 株	23年3月期	326,093,836 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	5,023,773 株	23年3月期	5,023,278 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	321,070,302 株	23年3月期2Q	321,072,320 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の前提条件および注意事項等については、添付資料4ページをご参照下さい。

目 次

1. 四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績	P. 2
(2) 連結財政状態	P. 3
(3) 連結業績予想	P. 4
2. 四半期連結財務諸表等	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4) 継続企業の前題に関する注記	P. 12
(5) セグメント情報等	P. 12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 14

問合せ先：コーポレートコミュニケーション部 IR課
電 話 (044) 580-1004
ファクシミリ (044) 580-4064
Eメール pioneer_ir@post.pioneer.co.jp
U R L <http://pioneer.jp/ir/>

1. 四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績

(金額単位 百万円)

科 目	第 2 四 半 期			第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間		
	平成24年3月期 (平成23年7月～ 平成23年9月)	平成23年3月期 (平成22年7月～ 平成22年9月)	増減率	平成24年3月期 (平成23年4月～ 平成23年9月)	平成23年3月期 (平成22年4月～ 平成22年9月)	増減率
売 上 高	115,602	116,833	△1.1%	213,729	226,681	△5.7%
営 業 利 益	5,050	4,301	17.4%	7,002	6,669	5.0%
経 常 利 益	3,424	3,769	△9.2%	5,071	5,454	△7.0%
当 期 純 利 益	1,212	7,056	△82.8%	1,505	7,654	△80.3%

平成24年3月期第2四半期（平成23年7月1日～平成23年9月30日）における連結売上高は、カーナビゲーションシステムが国内で好調に推移しましたが、米ドルに対する円高の影響に加え、光ディスクドライブ関連製品の売上が減少したことや、カーオーディオの売上が東日本大震災の影響もあり、主にOEMで減少したことにより、前年同期に比べ1.1%減収の115,602百万円となりました。

営業利益は、売上高の減少による売上総利益の減少がありましたが、販売費および一般管理費の減少により、前年同期から17.4%増加して5,050百万円となりました。また、当期純利益は、前年同期に旧本社等の売却による固定資産売却益を計上したことから、82.8%減益の1,212百万円となりました。

当四半期の平均為替レートは、前年同期に比べ、対米ドルは10.3%の円高、対ユーロは前年同期並みとなりました。

カーエレクトロニクスの売上は、円高の影響はありましたが、前年同期に比べ10.8%増収の70,805百万円となりました。カーナビゲーションシステムの売上のうち、市販市場向けは、国内で大変好調であったことから増収となりました。OEMも、国内でディーラーオプションが増加したことから増収となりました。カーオーディオの売上のうち、市販市場向けは、欧州で増加しましたが、震災の影響による新製品導入の遅れにより中南米で減少したことから減収となりました。OEMは、震災の影響による受注減もあり中国および北米で減少したことから、減収となりました。なお、カーエレクトロニクス全体の売上高に占めるOEMの売上構成比は、前年同期の45%から42%となりました。

国内外別の売上については、国内は32.2%増収の36,591百万円、海外は5.6%減収の34,214百万円となりました。

営業利益は、売上増による売上総利益の増加はありましたが、販売費及び一般管理費が増加したことに加え、震災の影響により、1.9%減益の3,613百万円となりました。

ホームエレクトロニクスの売上は、前年同期に比べ17.5%減収の33,520百万円となりました。これは、AVシステムが増加しましたが、光ディスクドライブ関連製品の売上が、パソコン向けが減少したことに加え、AV機器向けが地上デジタル放送移行に伴う特需が一巡したことで、大きく減少したことによるものです。

国内外別の売上については、国内は13.0%減収の16,997百万円、海外は21.7%減収の

16,523百万円となりました。

営業利益は、売上は減少しましたが、販売費及び一般管理費が減少したことから、前年同期に対して2.3倍の1,619百万円となりました。

その他の売上は、FA機器が増加しましたが、電子部品や携帯電話用スピーカーユニットが減少したことにより、前年同期に比べ8.2%減収の11,277百万円となりました。

国内外別の売上については、国内は7.9%減収の7,112百万円、海外は8.6%減収の4,165百万円となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費が減少しましたが、原価率悪化と売上減により、83.1%減益の143百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）における連結売上高は、カーナビゲーションシステムが国内で好調に推移しましたが、米ドルに対する円高の影響に加え、カーオーディオの売上が東日本大震災の影響もあり、主にOEMで減少したことや、光ディスクドライブ関連製品の売上が減少したことにより、前年同期に比べ5.7%減収の213,729百万円となりました。

営業利益は、売上高の減少がありましたが、原価率の良化や販売費及び一般管理費の減少により、5.0%増加して7,002百万円となりました。また、当期純利益は、前年同期に旧本社等の売却による固定資産売却益を計上したことから、80.3%減少して1,505百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における平均為替レートは、前年同期に比べ、対米ドルは11.4%の円高、対ユーロは前年同期並みとなりました。

（注）各セグメントの営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表しています。

（2）連結財政状態

当第2四半期末の総資産については、現金及び預金ならびに棚卸資産が増加しましたが、有形固定資産や受取手形及び売掛金、および投資有価証券が減少したことにより、前期末に比べ3,067百万円減少し、306,645百万円となりました。現金及び預金は、6,756百万円増加し、54,322百万円となりました。また、棚卸資産は、第3四半期の販売計画に従って在庫を増やしたことにより4,474百万円増加し、64,090百万円となりました。一方、有形固定資産は、設備投資の抑制や遊休資産の売却などにより5,599百万円減少し、61,805百万円となりました。受取手形及び売掛金は、主に為替の悪影響により4,395百万円減少し、60,852百万円となりました。また、投資有価証券は、保有株式の時価の下落等により1,932百万円減少し、10,201百万円となりました。

負債については、借入金が6,558百万円増加したことなどにより、前期末に比べ3,867百万円増加し、225,125百万円となりました。借入金の増加は、手元資金の確保および事業の成長資金として活用することを目的として、新規の借入契約を金融機関と締結したことによるものです。

純資産については、当期純利益1,505百万円を計上しましたが、円高による為替換算調整勘定の減少7,122百万円に加え、保有株式の時価の下落等による有価証券評価差額金の減少1,912百万円があったことから、前期末に比べ6,934百万円減少し、81,520百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動では11,055百万円のキャッシュを得ました。これは主に、棚卸資産の増加8,573百万円がありました。現金支出を伴わない減価償却費12,235百万円や仕入債務の増加4,408百万円があったことによるものです。投資活動では固定資産の新規取得などに10,104百万円を使用しました。財務活動では、借入金の増加などで6,518百万円のキャッシュを得ました。また、主に米ドルに対する円高により外貨建の現金及び現金同等物の評価額が1,809百万円減少しました。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ5,660百万円増加し、53,226百万円となりました。

(3) 連結業績予想

タイで発生した洪水により、当社グループの同国内の生産拠点も一部浸水の被害を受けていますが、この洪水による連結業績への影響については現在精査中であり、現時点では合理的な算定が困難です。従って、平成24年3月期通期の連結業績予想については、現時点では未定とさせていただきます、平成23年11月29日の新・中期事業計画発表時にお知らせする予定です。

見通しに関する注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されたいようお願いします。また、当社は新たな情報や将来の事象等の結果としてこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上するユーロ、米ドル、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合弁、提携またはその他の事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,566	54,322
受取手形及び売掛金	65,247	60,852
商品及び製品	27,864	31,793
仕掛品	11,522	11,668
原材料及び貯蔵品	20,230	20,629
繰延税金資産	5,530	5,308
その他	13,202	12,455
貸倒引当金	△1,686	△1,379
流動資産合計	189,475	195,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	68,367	64,965
機械、運搬具及び工具器具備品	152,194	142,766
その他	27,942	25,762
減価償却累計額	△181,099	△171,688
有形固定資産合計	67,404	61,805
無形固定資産		
のれん	690	668
ソフトウェア	25,628	25,024
その他	1,916	1,635
無形固定資産合計	28,234	27,327
投資その他の資産		
投資有価証券	12,133	10,201
繰延税金資産	6,057	5,439
その他	6,269	6,133
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	24,418	21,732
固定資産合計	120,056	110,864
繰延資産	181	133
資産合計	309,712	306,645

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,008	60,843
短期借入金	6,951	8,386
1年内返済予定の長期借入金	35,035	50,676
未払法人税等	4,080	4,445
未払費用	38,764	37,504
製品保証引当金	2,780	2,528
その他	14,675	13,000
流動負債合計	162,293	177,382
固定負債		
長期借入金	45,846	35,328
退職給付引当金	8,576	8,986
その他	4,543	3,429
固定負債合計	58,965	47,743
負債合計	221,258	225,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	87,257	87,257
資本剰余金	119,487	119,487
利益剰余金	△34,746	△33,241
自己株式	△11,050	△11,050
株主資本合計	160,948	162,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,206	△706
繰延ヘッジ損益	△26	108
為替換算調整勘定	△75,693	△82,815
海外子会社年金調整額	△1,421	△1,295
その他の包括利益累計額合計	△75,934	△84,708
少数株主持分	3,440	3,775
純資産合計	88,454	81,520
負債純資産合計	309,712	306,645

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間
 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	226,681	213,729
売上原価	176,617	165,065
売上総利益	50,064	48,664
販売費及び一般管理費	43,395	41,662
営業利益	6,669	7,002
営業外収益		
受取利息	155	159
受取配当金	191	145
為替差益	974	233
その他	368	202
営業外収益合計	1,688	739
営業外費用		
支払利息	1,824	1,642
その他	1,079	1,028
営業外費用合計	2,903	2,670
経常利益	5,454	5,071
特別利益		
固定資産売却益	5,391	49
投資有価証券売却益	642	—
子会社株式売却益	—	455
その他	150	—
特別利益合計	6,183	504
特別損失		
固定資産除売却損	718	676
減損損失	116	502
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	359	—
その他	1	176
特別損失合計	1,194	1,354
税金等調整前四半期純利益	10,443	4,221
法人税、住民税及び事業税	2,589	2,535
法人税等調整額	△44	△244
法人税等合計	2,545	2,291
少数株主損益調整前四半期純利益	7,898	1,930
少数株主利益	244	425
四半期純利益	7,654	1,505

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,898	1,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,944	△1,912
繰延ヘッジ損益	△323	134
為替換算調整勘定	△9,682	△7,241
持分法適用会社に対する持分相当額	△31	△8
海外子会社年金調整額	159	126
その他の包括利益合計	△13,821	△8,901
四半期包括利益	△5,923	△6,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,022	△7,269
少数株主に係る四半期包括利益	99	298

第2四半期連結会計期間
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	116,833	115,602
売上原価	91,474	90,576
売上総利益	25,359	25,026
販売費及び一般管理費	21,058	19,976
営業利益	4,301	5,050
営業外収益		
受取利息	81	71
受取配当金	57	54
為替差益	700	—
その他	180	72
営業外収益合計	1,018	197
営業外費用		
支払利息	936	796
為替差損	—	221
借入関連費用	52	452
その他	562	354
営業外費用合計	1,550	1,823
経常利益	3,769	3,424
特別利益		
固定資産売却益	5,270	27
その他	149	6
特別利益合計	5,419	33
特別損失		
固定資産除売却損	476	544
減損損失	116	418
その他	—	169
特別損失合計	592	1,131
税金等調整前四半期純利益	8,596	2,326
法人税、住民税及び事業税	1,194	1,572
法人税等調整額	303	△393
法人税等合計	1,497	1,179
少数株主損益調整前四半期純利益	7,099	1,147
少数株主利益又は少数株主損失(△)	43	△65
四半期純利益	7,056	1,212

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,099	1,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,064	△861
繰延ヘッジ損益	△401	345
為替換算調整勘定	△3,429	△5,398
持分法適用会社に対する持分相当額	△49	△38
海外子会社年金調整額	51	83
その他の包括利益合計	△4,892	△5,869
四半期包括利益	2,207	△4,722
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,243	△4,546
少数株主に係る四半期包括利益	△36	△176

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,443	4,221
減価償却費	16,090	12,235
減損損失	116	502
退職給付引当金の増減額(△は減少)	345	615
受取利息及び受取配当金	△346	△304
支払利息	1,824	1,642
固定資産除売却損益(△は益)	△4,673	627
売上債権の増減額(△は増加)	1,398	759
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,187	△8,573
仕入債務の増減額(△は減少)	8,254	4,408
未払費用の増減額(△は減少)	△835	△138
その他	△2,849	△1,165
小計	20,580	14,829
利息及び配当金の受取額	317	304
利息の支払額	△1,815	△1,640
法人税等の支払額	△3,821	△2,438
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,261	11,055
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	14	△1,127
固定資産の取得による支出	△11,079	△10,683
固定資産の売却による収入	10,429	1,190
投資有価証券の売却による収入	1,488	—
その他	△715	516
投資活動によるキャッシュ・フロー	137	△10,104
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,696	1,793
長期借入れによる収入	—	35,328
長期借入金の返済による支出	△1,276	△30,205
その他	△169	△398
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,141	6,518
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,819	△1,809
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,438	5,660
現金及び現金同等物の期首残高	84,142	47,566
現金及び現金同等物の四半期末残高	91,580	53,226

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. セグメント別売上高

(単位：百万円)

		前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		増減率
		金額	構成比	金額	構成比	
カーエレクトロニクス	国内	53,927	23.8%	63,701	29.8%	18.1%
	海外	72,688	32.1	64,582	30.2	△11.2
		126,615	55.9	128,283	60.0	1.3
ホームエレクトロニクス	国内	34,397	15.2	32,452	15.2	△5.7
	海外	41,294	18.2	31,494	14.7	△23.7
		75,691	33.4	63,946	29.9	△15.5
その他	国内	15,538	6.8	13,013	6.1	△16.3
	海外	8,837	3.9	8,487	4.0	△4.0
		24,375	10.7	21,500	10.1	△11.8
連結売上高計	国内	103,862	45.8	109,166	51.1	5.1
	海外	122,819	54.2	104,563	48.9	△14.9
		226,681	100.0	213,729	100.0	△5.7

(単位：百万円)

		前第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)		増減率
		金額	構成比	金額	構成比	
カーエレクトロニクス	国内	27,671	23.7%	36,591	31.7%	32.2%
	海外	36,246	31.0	34,214	29.5	△5.6
		63,917	54.7	70,805	61.2	10.8
ホームエレクトロニクス	国内	19,539	16.7	16,997	14.7	△13.0
	海外	21,095	18.1	16,523	14.3	△21.7
		40,634	34.8	33,520	29.0	△17.5
その他	国内	7,726	6.6	7,112	6.1	△7.9
	海外	4,556	3.9	4,165	3.7	△8.6
		12,282	10.5	11,277	9.8	△8.2
連結売上高計	国内	54,936	47.0	60,700	52.5	10.5
	海外	61,897	53.0	54,902	47.5	△11.3
		116,833	100.0	115,602	100.0	△1.1

2. セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーエレクト ロニクス	ホームエレクト ロニクス	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	126,615	75,691	24,375	226,681	—	226,681
セグメント間の内部 売上高または振替高	609	210	3,817	4,636	△4,636	—
計	127,224	75,901	28,192	231,317	△4,636	226,681
セグメント利益	5,671	720	941	7,332	△663	6,669

(注) 1. セグメント利益の調整額△663百万円には、セグメント間取引消去39百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△702百万円が含まれています。全社費用等の内容は、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーエレクト ロニクス	ホームエレクト ロニクス	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	128,283	63,946	21,500	213,729	—	213,729
セグメント間の内部 売上高または振替高	442	149	3,222	3,813	△3,813	—
計	128,725	64,095	24,722	217,542	△3,813	213,729
セグメント利益(△損失)	5,466	1,981	△373	7,074	△72	7,002

(注) 1. セグメント利益(△損失)の調整額△72百万円には、セグメント間取引消去△48百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△24百万円が含まれています。全社費用等の内容は、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益(△損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

前第2四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーエレクト ロニクス	ホームエレクト ロニクス	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	63,917	40,634	12,282	116,833	—	116,833
セグメント間の内部 売上高または振替高	348	134	1,739	2,221	△2,221	—
計	64,265	40,768	14,021	119,054	△2,221	116,833
セグメント利益	3,684	714	847	5,245	△944	4,301

- (注) 1. セグメント利益の調整額△944百万円には、セグメント間取引消去90百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△1,034百万円が含まれています。全社費用等の内容は、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第2四半期連結会計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーエレクト ロニクス	ホームエレクト ロニクス	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	70,805	33,520	11,277	115,602	—	115,602
セグメント間の内部 売上高または振替高	232	84	1,514	1,830	△1,830	—
計	71,037	33,604	12,791	117,432	△1,830	115,602
セグメント利益	3,613	1,619	143	5,375	△325	5,050

- (注) 1. セグメント利益の調整額△325百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△323百万円が含まれています。全社費用等の内容は、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。